

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成27年4月13日
【四半期会計期間】	第30期第2四半期（自平成26年12月1日至平成27年2月28日）
【会社名】	黒谷株式会社 （旧会社名 株式会社クロタニコーポレーション） （注）平成26年11月26日開催の第29回定時株主総会の決議により、平成27年1月1日から会社名を上記のとおり変更いたしました。
【英訳名】	Kurotani Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 黒谷 純久
【本店の所在の場所】	富山県射水市奈呉の江12番地の2
【電話番号】	0766（84）0001（代表）
【事務連絡者氏名】	代表取締役副社長 井上 亮一
【最寄りの連絡場所】	富山県射水市奈呉の江12番地の2
【電話番号】	0766（84）0001（代表）
【事務連絡者氏名】	代表取締役副社長 井上 亮一
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第29期 第2四半期 累計期間	第30期 第2四半期 累計期間	第29期
会計期間	自平成25年 9月1日 至平成26年 2月28日	自平成26年 9月1日 至平成27年 2月28日	自平成25年 9月1日 至平成26年 8月31日
売上高 (千円)	25,811,695	27,525,087	51,000,880
経常利益 (千円)	53,301	53,654	46,336
四半期(当期)純利益 (千円)	98,940	34,313	97,783
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-	-
資本金 (千円)	1,000,000	1,000,000	1,000,000
発行済株式総数 (株)	7,168,600	7,168,600	7,168,600
純資産額 (千円)	7,299,119	7,276,721	7,240,564
総資産額 (千円)	16,149,554	16,693,319	17,020,184
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	13.80	4.79	13.64
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
1株当たり配当額 (円)	10.00	10.00	20.00
自己資本比率 (%)	45.2	43.6	42.5
営業活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	1,131,802	1,607,170	3,502,632
投資活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	186,603	202,021	9,747
財務活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	1,472,978	816,934	2,678,565
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	1,935,740	1,146,009	592,865

回次	第29期 第2四半期 会計期間	第30期 第2四半期 会計期間
会計期間	自平成25年 12月1日 至平成26年 2月28日	自平成26年 12月1日 至平成27年 2月28日
1株当たり四半期純利益金額又は1 株当たり四半期純損失金額() (円)	17.42	10.78

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 持分法を適用した場合の投資利益につきましては、重要な関係会社がないため、記載しておりません。

4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期累計期間における世界経済は、米国経済は順調に推移したものの、欧州経済は、ウクライナやギリシャ情勢など地政学リスクの高まりから停滞感が強まり、中国経済も不動産バブル等の対策から成長が鈍化したため、総じて先行き不透明感が強まりました。

また、我が国においても、円安・株高傾向は続いているものの、踊り場を迎えており、やや成長に翳りが見え始めてきました。

当第2四半期累計期間における当社を取り巻く環境は、このような世界経済・国内経済の動向から、当社の主力取扱商品である銅価格は、ロンドン金属取引所3か月物価格で平成21年以来の安値を付け、加えて国内原材料の需給バランスによる利鞘も厳しい状況となったことから、当社業績は売上高275億25百万円（前年同四半期比6.6%増）、営業利益1億23百万円（前年同四半期比117.9%増）、経常利益53百万円（前年同四半期比0.7%増）、四半期純利益34百万円（前年同四半期比65.3%減）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末と比較して5億53百万円増加し、11億46百万円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における営業活動の結果得られた資金は16億7百万円（前年同四半期は11億31百万円の支出）となりました。これは主に税引前四半期純利益63百万円、売上債権の減少による収入5億57百万円、仕入債務の増加による収入1億26百万円、たな卸資産の減少による収入11億78百万円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における投資活動の結果使用した資金は2億2百万円（前年同四半期は1億86百万円の収入）となりました。これは主に関係会社株式の取得による支出1億70百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における財務活動の結果使用した資金は8億16百万円（前年同四半期は14億72百万円の収入）となりました。これは主に長期借入金の純増額2億23百万円による収入と短期借入金の返済9億68百万円による支出、配当金の支払い71百万円の支出によるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社の事業上及び財務上の対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期累計期間における研究開発活動の金額はありません。

なお、当第2四半期累計期間において、当社の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	28,000,000
計	28,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成27年2月28日)	提出日現在発行数(株) (平成27年4月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	7,168,600	7,168,600	東京証券取引所 市場第二部	1単元の株式数は 100株であります。 普通株式は完全議決 権株式であり、権利 内容に何ら限定のな い、当社における標 準となる株式であり ます。
計	7,168,600	7,168,600	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成26年12月1日～ 平成27年2月28日	-	7,168,600	-	1,000,000	-	293,024

(6) 【大株主の状況】

平成27年2月28日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
有限会社KHプレミアム	富山県射水市作道2140-3	1,848,000	25.78
黒谷 純久	東京都世田谷区	1,802,200	25.14
株式会社暁	東京都世田谷区成城5丁目2-16	1,000,000	13.95
株式会社エム・ケイ・コーポレーション	兵庫県三木市福井2283-7	200,000	2.79
黒谷 暁	東京都世田谷区	100,000	1.39
黒谷 昌輝	東京都世田谷区	100,000	1.39
株式会社北陸銀行	富山県富山市堤町通り1丁目2-26	70,000	0.98
株式会社北國銀行 (常任代理人 資産管理サービス信託銀行株 式会社)	石川県金沢市広岡2丁目12番6号 (東京都中央区晴海1丁目8-12)	70,000	0.98
黒谷株式会社従業員持株会	富山県射水市奈呉の江12-2	69,200	0.97
黒谷 春美	東京都世田谷区	60,000	0.84
計	-	5,319,400	74.20

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成27年2月28日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 100	-	単元株式数100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,167,200	71,672	同上
単元未満株式	普通株式 1,300	-	1単元(100株)未満の 株式(注)
発行済株式総数	7,168,600	-	-
総株主の議決権	-	71,672	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式8株が含まれております。

【自己株式等】

平成27年2月28日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
黒谷株式会社	富山県射水市奈呉の江12番 地の2	100	-	100	0.00
計	-	100	-	100	0.00

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間（平成26年12月1日から平成27年2月28日まで）及び第2四半期累計期間（平成26年9月1日から平成27年2月28日まで）に係る四半期財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則（平成19年内閣府令第64号）第5条第2項により、当社では、子会社の資産、売上高、損益、利益剰余金及びキャッシュ・フローその他の項目から見て、当企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいものとして、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

なお、資産基準、売上高基準、利益基準及び利益剰余金基準による割合は次のとおりであります。

資産基準	0.5%
売上高基準	0.0%
利益基準	0.9%
利益剰余金基準	0.1%

1【四半期財務諸表】

(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年8月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,592,129	2,179,404
受取手形及び売掛金	1 6,440,222	1 5,446,338
電子記録債権	1 373,066	1 809,763
商品及び製品	625,238	297,212
仕掛品	132,051	198,604
原材料及び貯蔵品	2,673,661	1,757,059
前渡金	1,064,852	1,990,056
その他	873,760	516,016
流動資産合計	13,774,982	13,194,455
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,521,121	1,521,121
その他(純額)	867,836	836,908
有形固定資産合計	2,388,958	2,358,029
無形固定資産	26,174	24,771
投資その他の資産	2 830,069	2 1,116,062
固定資産合計	3,245,201	3,498,863
資産合計	17,020,184	16,693,319

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年8月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,203,056	1,329,972
短期借入金	5,587,524	4,792,111
1年内返済予定の長期借入金	1,228,714	1,205,916
未払法人税等	9,071	33,674
引当金	26,462	23,290
その他	291,195	307,556
流動負債合計	8,346,025	7,692,521
固定負債		
長期借入金	1,349,259	1,595,307
引当金	75,190	79,229
その他	9,145	49,539
固定負債合計	1,433,594	1,724,076
負債合計	9,779,620	9,416,597
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	685,855	685,855
利益剰余金	5,447,854	5,410,482
自己株式	55	55
株主資本合計	7,133,654	7,096,282
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	106,910	180,438
評価・換算差額等合計	106,910	180,438
純資産合計	7,240,564	7,276,721
負債純資産合計	17,020,184	16,693,319

(2)【四半期損益計算書】
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)
売上高	25,811,695	27,525,087
売上原価	25,184,312	26,828,855
売上総利益	627,382	696,232
販売費及び一般管理費	570,624	572,531
営業利益	56,758	123,700
営業外収益		
受取利息	179	137
受取配当金	2,389	2,285
為替差益	24,563	-
デリバティブ運用益	-	4,206
受取保険金	6,908	337
助成金収入	662	-
違約金収入	-	2,700
その他	953	2,116
営業外収益合計	35,657	11,782
営業外費用		
支払利息	36,172	39,542
為替差損	-	42,286
デリバティブ運用損	1,737	-
その他	1,203	0
営業外費用合計	39,113	81,829
経常利益	53,301	53,654
特別利益		
固定資産売却益	1,915	9,539
保険譲渡益	162,178	-
特別利益合計	164,094	9,539
特別損失		
貸倒引当金繰入額	38,850	-
特別損失合計	38,850	-
税引前四半期純利益	178,545	63,193
法人税、住民税及び事業税	79,942	29,761
法人税等調整額	338	881
法人税等合計	79,604	28,880
四半期純利益	98,940	34,313

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	178,545	63,193
減価償却費	91,615	83,230
引当金の増減額(は減少)	6,788	866
保険譲渡益	162,178	-
貸倒引当金繰入額	38,850	-
受取利息及び受取配当金	2,568	2,422
支払利息	36,172	39,542
為替差損益(は益)	4,977	173,801
売上債権の増減額(は増加)	684,438	557,186
たな卸資産の増減額(は増加)	378,328	1,178,075
仕入債務の増減額(は減少)	460,902	126,916
未収消費税等の増減額(は増加)	283,882	342,045
その他	201,683	929,196
小計	845,896	1,633,238
利息及び配当金の受取額	2,537	2,395
利息の支払額	38,172	39,644
法人税等の還付額	-	16,882
法人税等の支払額	250,270	5,701
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,131,802	1,607,170
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	424,258	424,338
定期預金の払戻による収入	424,212	424,294
関係会社株式の取得による支出	-	170,505
有形固定資産の取得による支出	87,079	44,352
無形固定資産の取得による支出	3,280	2,650
投資有価証券の取得による支出	4,227	3,683
その他	281,237	19,213
投資活動によるキャッシュ・フロー	186,603	202,021
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	1,695,370	968,230
長期借入れによる収入	500,000	900,000
長期借入金の返済による支出	650,640	676,750
自己株式の取得による支出	18	-
配当金の支払額	71,732	71,954
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,472,978	816,934
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,220	35,071
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	537,000	553,143
現金及び現金同等物の期首残高	1,398,740	592,865
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,935,740	1,146,009

【注記事項】

(会計方針の変更等)
 該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)
 該当事項はありません。

(四半期貸借対照表関係)

1 四半期会計期間末日満期手形等

四半期会計期間末日満期手形等の会計処理については、当四半期会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期会計期間末日満期手形等の金額は、次のとおりであります。

	前事業年度 (平成26年8月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年2月28日)
受取手形	456,412千円	470,100千円
電子記録債権	-千円	84,030千円
支払手形	344千円	-千円

2 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の金額

	前事業年度 (平成26年8月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年2月28日)
投資その他の資産	38,850千円	38,850千円

(四半期損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)
販売諸掛	227,351千円	225,093千円
従業員給与及び賞与	85,907	92,910

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)
現金及び預金勘定	2,939,499千円	2,179,404千円
預入期間が3か月を超える定期預金	695,307	695,443
負の現金同等物としての当座借越	308,450	337,951
現金及び現金同等物	1,935,740	1,146,009

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自平成25年9月1日至平成26年2月28日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当 額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年11月20日 定時株主総会	普通株式	71,685	10	平成25年8月31日	平成25年11月21日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当 額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年4月11日 取締役会	普通株式	71,684	10	平成26年2月28日	平成26年5月2日	利益剰余金

当第2四半期累計期間(自平成26年9月1日至平成27年2月28日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当 額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年11月26日 定時株主総会	普通株式	71,684	10	平成26年8月31日	平成26年11月27日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当 額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年4月10日 取締役会	普通株式	71,684	10	平成27年2月28日	平成27年5月1日	利益剰余金

(デリバティブ取引関係)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

商品関連

前事業年度(平成26年8月31日)

区分	取引の種類	契約額等 (千円)	契約額等のうち 1年超 (千円)	時価 (千円)	評価損益 (千円)
市場取引以外の取引	(先渡取引)				
	売建	249,324	-	4,511	4,511
	買建	252,415	-	1,420	1,420
合計		501,740	-	3,090	3,090

(注) 時価の算定方法

時価の算定は、商社及びLME(ロンドン金属取引所)取引のブローカーから提出された価格によっております。

当第2四半期会計期間(平成27年2月28日)

区分	取引の種類	契約額等 (千円)	契約額等のうち 1年超 (千円)	時価 (千円)	評価損益 (千円)
市場取引以外の取引	(先渡取引)				
	売建	220,066	-	9,019	9,019
	買建	215,231	-	13,854	13,854
合計		435,298	-	4,834	4,834

(注) 時価の算定方法

時価の算定は、商社及びLME(ロンドン金属取引所)取引のブローカーから提出された価格によっております。

(持分法損益等)

当社は関連会社を1社所有しておりますが、損益及び利益剰余金その他の項目からみて重要性が乏しいことから、記載を省略しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社はインゴットの製造・販売及びスクラップの加工・販売を行う非鉄金属事業の他に美術工芸品の製造販売を行っておりますが、非鉄金属事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)
1株当たり四半期純利益金額	13円80銭	4円79銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	98,940	34,313
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	98,940	34,313
普通株式の期中平均株式数(株)	7,168,505	7,168,492

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

第30期(平成26年9月1日から平成27年8月31日まで)中間配当について

平成27年4月10日開催の取締役会において、平成27年2月28日の株主名簿に登録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額 71,684千円
 1株当たりの金額 10円
 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 平成27年5月1日

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年4月8日

黒谷株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 陸田 雅彦 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 高村 藤貴 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている黒谷株式会社の平成26年9月1日から平成27年8月31日までの第30期事業年度の第2四半期会計期間（平成26年12月1日から平成27年2月28日まで）及び第2四半期累計期間（平成26年9月1日から平成27年2月28日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、黒谷株式会社の平成27年2月28日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。